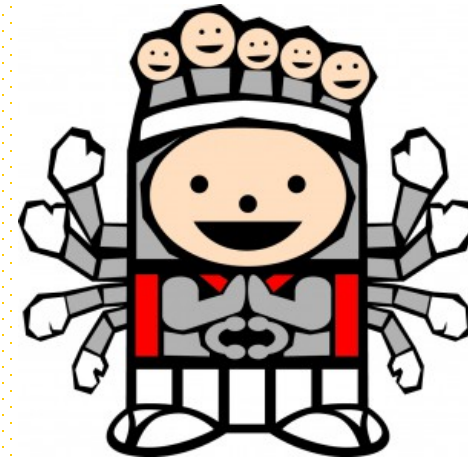


認知症と地域の架け橋をつくる



高鍋町地域包括支援センター

平田 いくみ



面積: 43,92 km²
人口: 20,554人

- 宮崎の中央にある町。
- 自治体で、最も面積は小さい。
- 児湯郡の中心として行政機関や教育が集中する
- 「コンパクトシティ」

◆高鍋町 ～地域を知る～



○ 海に恵まれ、サーフィンスポットや、天然牡蠣産地、アカウミガメの産卵地。



○ 農業も盛んで、キャベツ収穫後、ひまわりを栽培し、環境保全活動として、日本最大規模のひまわり畑に発展。



- 高鍋藩三万石の城下町という歴史あり。秋月種茂公や石井十次先生など多数輩出している。「孤児の父・日本福祉の先駆者」石井十次は「高鍋は理想的な人材を育成するのに最も適したところだ」と評する。

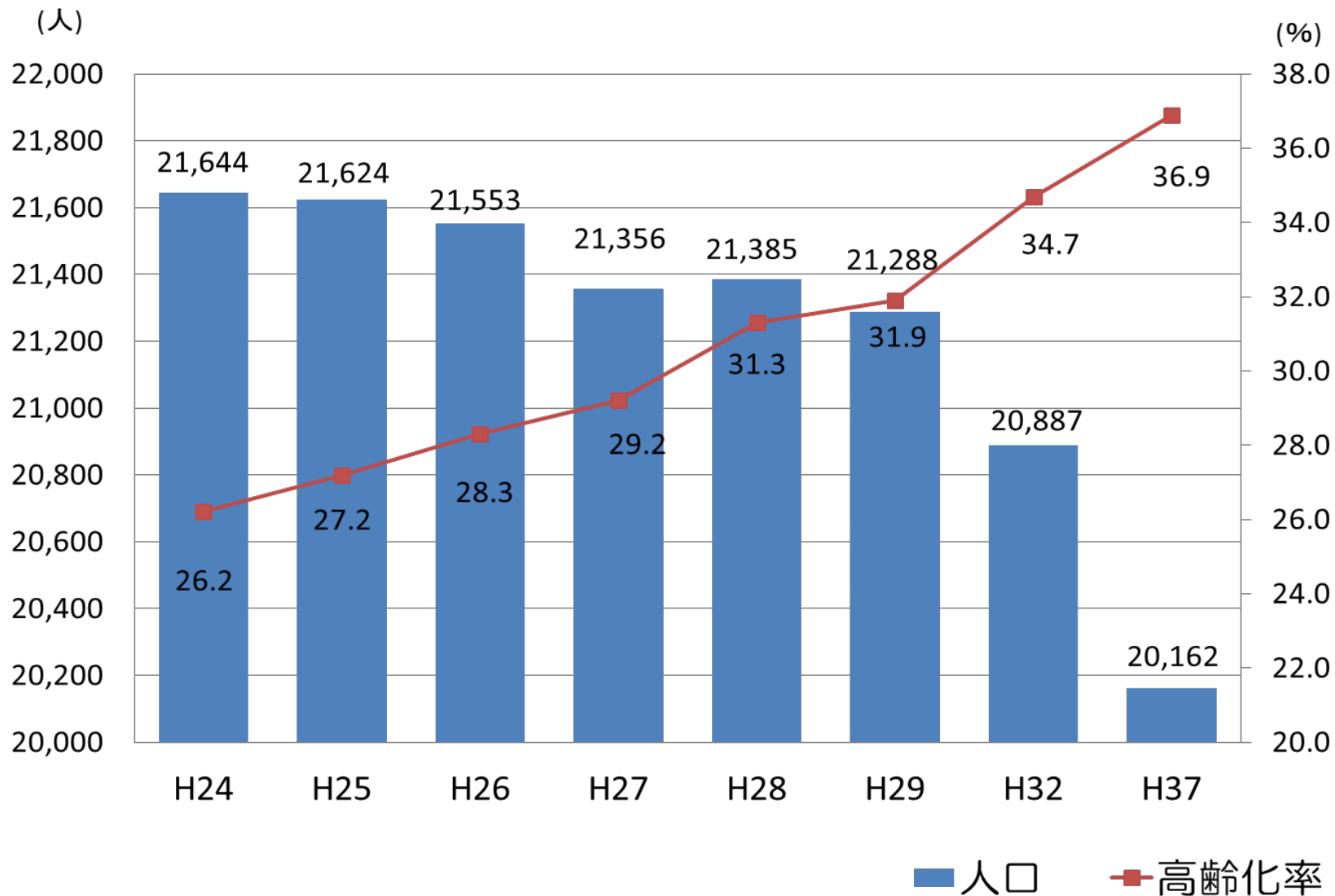
◆高鍋町の現状は？

平成30年4月1日現在

人口	20,554人
高齢者数	6,503人
独居高齢者	1,124人

要支援1	52人
要支援2	147人
要介護1	169人
要介護2	174人
要介護3	134人
要介護4	154人
要介護5	83人
合計	913人

高鍋町の総人口と高齢化率の推移



出典：第6期高鍋町介護保険事業計画

◆わが町の認知症地域支援推進員

社会福祉協議会に委託された地域包括支援センター

平成27年度配置：1人配置、保健師業務と兼任。

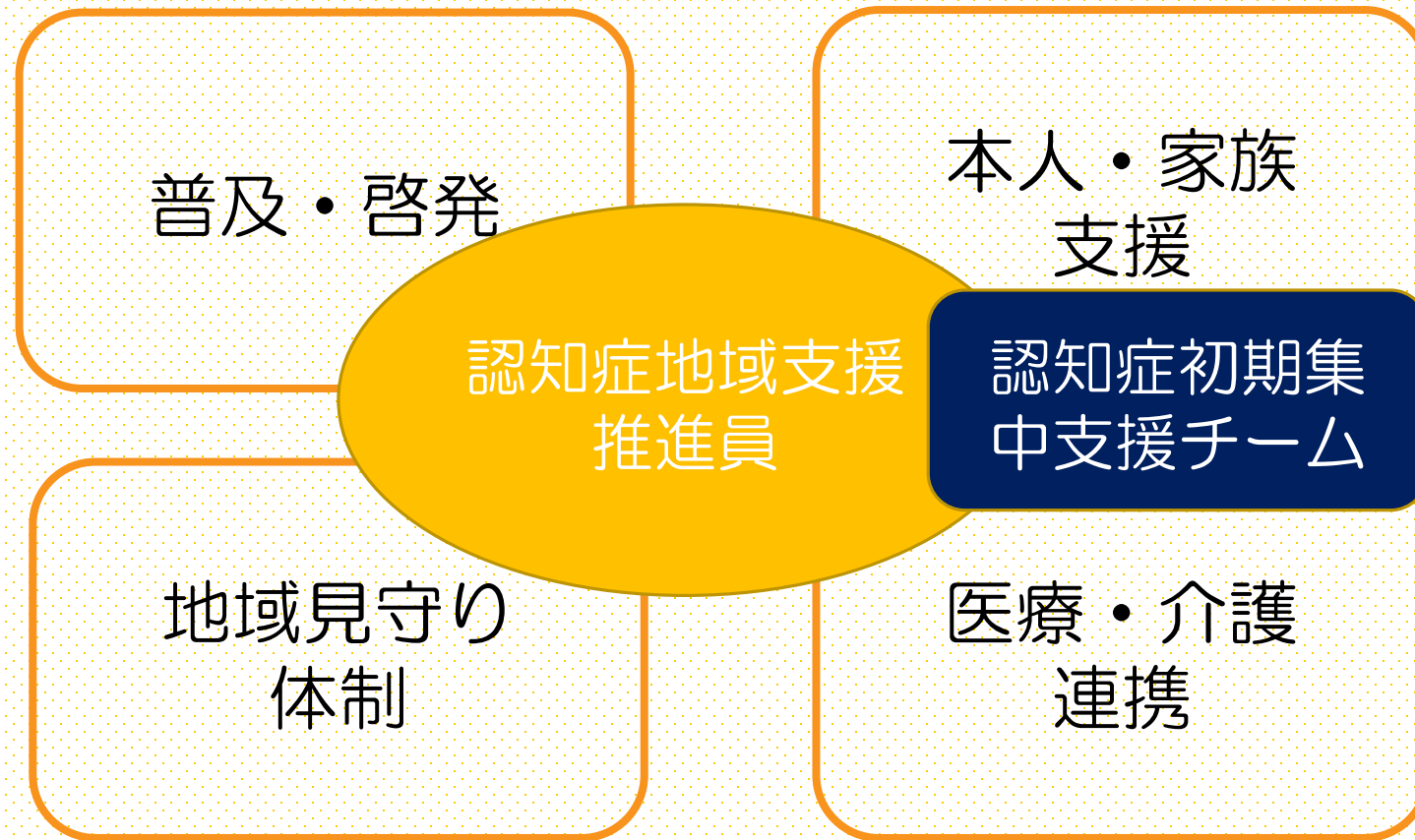


平成29年度11月より、2代目に交代。専任だが…



平成30年度6月より専任で活動。

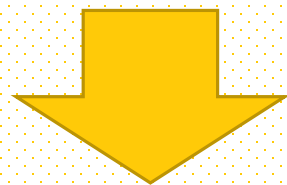
高鍋町の認知症施策と 地域支援推進員の役割



	普及・啓発	地域の見守り体制づくり	本人・家族の支援	医療・介護の連携推進
認知症サポーター養成講座の開催	○	○		
認知症安心ガイドの作成・配布	○	○	○	
地域での徘徊模擬訓練	○	○	○	
高齢者等発見ネットワーク事業		○	○	
あんしん見守りネットワーク事業		○	○	
認知症介護者のつどいの開催支援			○	
オレンジ・カフェの開催支援	○		○	
認知症初期集中支援事業			○	○

◆町から求められている推進員の役割

『認知症の啓発や、地域の見守りのネットワークづくり、病院との連携など認知症の人ができる限り住み慣れた、安心した良い環境で暮らしていけるよう支援を行う』



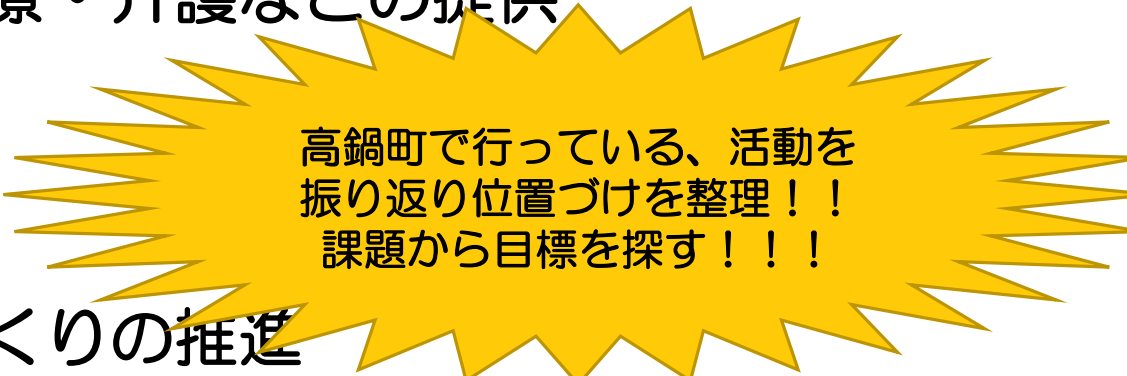
具体的に何をすればいいの・・・？

1人でどこまでできるだろうか・・・泣



◆認知症施策より ～新オレンジプラン～

- ①認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進
- ②認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護などの提供
- ③若年性認知症施策の強化
- ④認知症の人の介護者への支援
- ⑤認知症を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進
- ⑥認知症の予防法、診断法、治療法、リハビリテーションモデル、介護モデル等の研究開発及びその成果の普及の推進
- ⑦認知症の人やその家族の視点の重視



高鍋町で行っている、活動を
振り返り位置づけを整理！！
課題から目標を探す！！！！

オレンジプラン①⑤ 高鍋町あんしん見守りネットワーク事業

◆H28年度よりスタート。



高鍋町あんしん見守りネットワーク事業の流れ



協力団体
と
協定を結ぶ



- 郵便局
- 銀行
- 運送業
- タクシー会社



仕事をする中で



• 子ども・障がい・高齢

各機関に情報を下ろし、支援につなげる



〈役場〉



〈協力団体〉



異変に気付く

オレンジプラン①⑤

高鍋町高齢者発見ネットワーク事業

◆H28年度スタート。

行方不明となった高齢者等を地域の支援を得て早期発見できるよう、関係機関及び支援体制を構築し、安心して生活できる環境を整備及び高齢者等の安全と家族への支援を図ることを目的としています。

事前登録

行方不明となる恐れのある高齢者等に関する情報を、家族等の申請により事前に登録し、町・地域包括支援センター・高鍋警察署で共有

オレンジプラン①

認知症サポーター養成講座の普及

- 消防、警察、高齢者クラブ、地区単位などで講座を開催！その都度内容を変更し実践型に！！

苦慮していた**学校での講座を開催（H29年度）！！**



学校と地域をつなぐ教育の**校区コーディネーター**に依頼

H30年度から、講座後のアンケートの集計を学校に渡し、講座の必要性をアピール！

認知症サポーター養成講座の普及 キャラバンメイトの活用

サポーター養成講座は、ほとんど役場・包括職員が行っていた。
キャラバンメイトを習得した人が活躍していない状況。



H30年度からは、キャラバンメイト（25名）の役場・包括を始め
居宅介護支援事業所ケアマネ、施設管理者、認知症介護者のつどい
を6グループに分け、サポーター養成講座の依頼があると、各グ
ループに連絡し依頼する仕事を推進員が担当。

オレンジプラン②

ケアパス・認知症初期集中支援チーム

ケアパスの検討会の開催 (H29年度～)

- 隣接する町 介護認定審査会の3町 ⇒ 安心ガイド作成
- H30年は、各町で容態にあわせた地域資源をもう一度整理。改訂版を11月発行に向けて情報収集中。

初期集中支援チーム始動 (H30年10月～)

- 推進員と連携中 3町合同で推進員の活動報告し情報交換を行う

オレンジプラン④⑤⑦ 認知症介護者のつどい

◆H23年度に発足。事務局として推進員が動いている。

料理教室

(年1回)

男性介護者が多く、
普段の調理の場で活用
できる基本や豆知識を、
仲間と交流しながら楽
しく習得しています。



座談会

(月1回)

介護生活の中で
困ったことや悩んで
いること、嬉しな
ことなど仲間と共
有し、情報交換して
います。



シンポジウム

(年1回)

介護者のつどいが中心
となって、毎年開催し、
講師を呼び認知症の理解
や啓発活動を継続してい
ます。



オレンジプラン④⑤⑦ オレンジカフェ

「はまぼう」

【日 時】 第4 木曜日

13:30~15:00

【場 所】 ぐらんま茶寮（蚊口）

【参加費】 200円

【運 営】 認知症介護者のつどい



オレンジプラン④⑤⑦ オレンジカフェ

「スイカサロン」

【日 時】 第2 火曜日

13:30~15:00

【場 所】 東平原公民館

【参加費】 無料

【運 営】 東平原自治公民館
福祉厚生部



オレンジプラン①⑤⑦

認知症介護者のつどいによるシンポジウム開催

認知症介護者のつどいの毎月の定例会時に、シンポジウムの開催、内容などをつどいメンバーで話し合い、作り上げて行く。毎年2月初旬に開催。

運営費：赤い羽根共同募金の団体助成事業

場 所：町の援助を受けている

対象者：一般住民

内 容：認知症への理解・啓発



はにわ座



オレンジプラン④⑤ 認知症の方の見守り、声かけ訓練

気がかりな高齢者がいたら、どうしたらいいのか。対応の仕方やネットワークなどを学ぶ訓練。（H28年度）

現状 → 寸劇 → 実際に声かけ訓練 → グループワーク → 総評

地域、民生委員、介護者のつどい、警察、社協、行政参加。



- 話しかけるのに勇気がいる、こういう機会や相談窓口を知ることが大事
- 認知症の方が判断が難しいが、困っている人を助けるのは特別ではなく、対応も同じと気付くことができた。
- 日頃よりあいさつをしたり、交流をし、変化に気づける関係性や地域の繋がりが大事

認知症架け橋募金のとりくみ



H28年「**地域テーマ型募金**」として、宮崎県共同募金会より、高鍋町共同募金委員会が選ばれる。

「**めざせ！認知症に優しい町・高鍋**」をテーマにし、啓発活動や、今後の取り組みに要する資金を確保することを目的として、募金を活動団体、寄付者、企業、一般市民に募り、活用していく。



- 初年度（H27年度）地域の方や医療機関、施設などから約66万円の募金に協力いただく
- いただいた募金をこの1年は、啓発活動、地域づくりとして利用。



認知症架け橋募金のとりくみ

「めざせ！認知症に優しい町・高鍋」をテーマにし、プロジェクトを立ち上げ！！



委員：

- 認知症介護者のつどい
- 民生委員
- 婦人部会などの地域の方
- 地域包括支援センター
- 社会福祉協議会
- デザイナー

『架け橋募金』と『オレンジカフェ』

認知症介護者のつどいの方々から・・・

- ・ 家族が本人を連れてきて、安らげる場所がない
- ・ 介護してて、相談にいけない
- ・ 地域の人に、認知症を身近に感じてほしい

オレンジカフェをしたい。
予算がなーい！！！！
でも、やっぱり、居場所を作りたい！！！！



認知症介護者のつどい主催で オレンジカフェをオープン



H28年12月スタート運営費（開店資金）として、約20,000円をテーマ型募金から助成をもらう。

①場 所 代：12,000円（1,000円/月）

②物品購入費：5,000円（インスタントコーヒー、お茶など飲み物代）

その後・・・毎月平均15人来客。架け橋募金より、初回の運営資金と場所代をいただいたことで、H29年はトントンで運営できている。

H30年度は、つどい会費・寄付金から場所代（12,000円）にあて、運営できるようになった。

オレンジプラン④⑤⑦ オレンジカフェ

「はまぼう」

【日 時】 第4 木曜日

13:30~15:00

【場 所】 ぐらんま茶寮（蚊口）

【参加費】 200円

【運 営】 認知症介護者のつどい





作品募集

高鍋町では、認知症にまつわる
 そつと微笑みが生まれるような
 川柳作品を募集します。
 普段、認知症にかかわる方も
 そうでない方も、
 川柳をとおして認知症に
 地域ぐるみで触れ合い、
 認知症と地域をつなげる架け橋を
 つくってみませんか。



認知症架け橋川柳

めざせ！認知症に優しい町 **高鍋**



認知症架け橋川柳



20代から80代まで
424作品！！
受賞した作品は、
のぼり旗として啓発活動
に活用！！





〈役場駐車場にのぼり旗〉



〈町内温泉にも！〉



〈美術館にも〉



〈テレビの取材も！〉

小・中学校を一週間ごとに回りました

その一週間で子どもたちも川柳を作りました



認知症架け橋川柳受賞作品

H28年度

<p>Winning Work</p> <p>おばあちゃん 振り向けばもう 忍者かな</p> <p>武末ゆい作</p>	<p>Soukyu Award</p> <p>音もなく 家を抜け出し ウォーキング(徘徊)</p> <p>杉村き美作</p>	<p>ねなつつよ 何がねなつつよ そりゃわからん</p> <p>井上勇美子作</p>	<p>風呂入らん！ ひ孫と同じ タダこねる</p> <p>永次知子作</p>	<p>一番の 薬は寄り添う 思いやり</p> <p>橋本尚初作</p>
<p>認知症 わしやそんなもん なっとらん</p> <p>若原あづさ作</p>	<p>どこ行くの かどのばあちゃん スリッパで</p> <p>堀江悠美作</p>	<p>入れ歯ない まさかとのぞく 冷蔵庫</p> <p>矢野智子作</p>	<p>娘見て どちら様かと おじぎする</p> <p>立ちん坊作</p>	<p>さらさまの 服を着ようと もがく父</p> <p>矢野智子作</p>
<p>あれよあれ あれあれあれで 会話でき</p> <p>長谷川ゆかり子作</p>	<p>今何時？ 教えて5分で 今何時？</p> <p>黒木一子作</p>	<p>デイの日は 迎えの兄ちゃん 待つ乙女</p> <p>藤ちゃんのお作</p>	<p>忘れてる 忘れたことも 忘れてる</p> <p>ゆいこ作</p>	<p>二(二)はど(一) 気にしないでね 見守るよ</p> <p>橋田香一</p>

H29年度

賞状の展示風景

賞状のタイトルと作者名が書かれた黄色い紙が、木製の棚に並べられています。背景には緑の植木鉢や花が飾られています。

小・中学生の作品

賞状の例:

- 川柳賞 娘も嫁も 母の涙が母の涙 川柳 川柳二編
- 賞状 大使くん プラス思考で 世帯法 佐野辰也
- 賞状 自分で紹介 ちやいちゃはがしだ 数歩かき ちやいちゃはがしだ
- 賞状 母天使 ありがとうお母さん 母天使 奥谷川ゆい子
- 賞状 日々の生活 母の笑顔が母の笑顔 田々介 赤たな丸川ゆい子
- 賞状 愛の手紙 じいちゃんに 田田博
- 賞状 手紙は知ってる じいちゃんに 田田博
- 賞状 だいたいじいちゃん 赤たな丸川ゆい子
- 賞状 僕が父に 僕が父に 田田博
- 賞状 手紙が来た 僕が父に 田田博
- 賞状 手紙が来た 僕が父に 田田博
- 賞状 手紙が来た 僕が父に 田田博
- 賞状 手紙が来た 僕が父に 田田博
- 賞状 手紙が来た 僕が父に 田田博

ちーまるとのコラボからの オレンジ手帳

地域まるごとケアNET組織（略して「ちーまる」）

会 長：木城町地域包括支援センター主任ケアマネ

副会長：木城町訪問看護・居宅支援事業所管理者（PT）

高鍋町デイ管理者

事務係：特養言語聴覚師

役 員：包括支援センター（高鍋町）認知症地域支援推進員

高岡町共生型デイ管理者





H30年 認知症架け橋募金のとりくみ

組織を改正

会長：デザイナー

事務局：社会福祉協議会

役員：居宅介護支援事業所ケアマネ 2人

小規模多機能施設管理者

地域包括支援センター認知症地域支援推進員



認知症 架け橋



今後の推進員の展開・・・

- 「行政」
- 「地域包括支援センター・認知症地域支援推進員」
- 「社会福祉協議会」
- 「認知症介護者のつどい」
- 「医療機関」

連携しながら・・・ 地域とともに

今後の活動・取組みの方向性

- 安心ガイド：改訂、普及、啓発
- 初期集中支援チーム：連携による個別対応の充実や医療との連携
- 地域づくり：介護者のつどいの継続、オレンジカフェの増設、ボランティアにつなげるシステム作り。認知症サポーターのスキルアップ研修。
- 多職種連携：専門職との連携、脱領域の意見を取り入れる

最後に・・・



地域が大切にしていること、人や家族、支援している介護や
医療の仲間を知り 顔が見える関係へ

そして・・・

様々な立場で、出来ることから一歩ずつ始める

～つながる・架け橋～

目標は同じ、つながり協力しあい前へ

